



かみの毛が黒いのはどうして

かみの毛の色を決めているのは

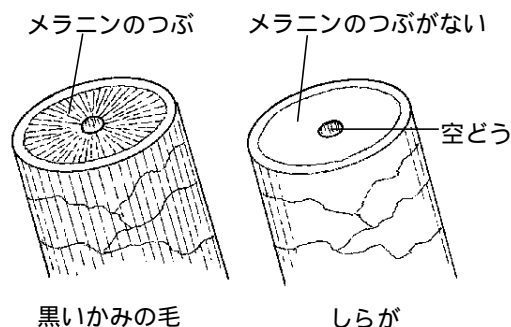
かみの毛が黒いのは、かみの毛の中に入っている、メラニンという色素(色のつぶ)が原因です。かみの毛の色を決めるのは、かみの毛の中のメラニン色素と空気の量なのです。日本人のような黒いかみの毛には、このメラニン色素がたくさん入っています。メラニン色素が少なくなるにつれて、黒からかっ色、そして、アメリカやヨーロッパの人などのような、くり毛、金髪になっていきます。

しらがもメラニンのせい?

かみの毛は、皮膚の下にある毛根の毛乳頭でつくられます。毛根の毛乳頭がメラニンをつくらなくなることがありますが、このメラニン色素がどんなに少なくなっても、かみの毛はうすいとう明に見えるだけで、決して、しらがにはなりません。

かみの毛は、細胞やたんぱく質でできています。年をとるとか何かの原因で、かみの毛の中心部分の、この細胞や、たんぱく質が少しずつぬけ落ちていくと、毛の中心部分が空っぽになって、そこに空気が入り、しらがになります。つまり、しらは、メラニン色素がなくなっていき、かみの毛の中心部分の、細胞やたんぱく質がなくなって空どうができ、そこに空気が入ることによってできるのです。

(監修・保志 宏)



黒いかみの毛

しらが

